第30号　平成19年７月

大阪船員保険病院だより

大阪船員保険病院
〒552-0021
大阪市港区築港1-8-30
TEL06-6572-5721

形成外科紹介

形成外科とは、体全体の表面を扱う外科であり、骨や筋肉を扱ういわゆる整形外科とは、別です。
形成外科は大きく分けると、外傷、皮膚腫瘍、先天奇形、美容に大別されますが、当科では特に下記に力を入れています。

◎ 皮膚レーザー治療

当院形成外科には、現在５種類の皮膚疾患治療用レーザーがあります。先天性単純性血管腫、苺状血管腫（いわゆる赤いあざです）に対してダイレーザー治療を行っています。また加齢とともに出現する老人性血管腫、毛細血管拡張症も治療可能です（保険治療適応）。
その他扁平母斑（いわゆる茶色のあざ）、太田母斑（いわゆる青色のあざ）、異所性蒙古斑に対しルービーレーザー、アレキサンドライトレーザー治療を行っています（保険治療適応）。

あざの専門外来は、月、水曜日午前中です。
その他日焼けによるシミ、黒子、イボ、刺青等についてもレーザー加療していますので、お気軽に相談下さい。（一部保険治療対象外となる場合もあります。）

◎ 下肢静脈瘤

これは妊婦や加齢とともに出現する下肢に静脈が浮き出た状態で、女性や立ち仕事の方に多くみられます。長期間に放置すると痒みがでたり、潰瘍を形成したりすることにもつながりますので、早めの受診をお勧めします。今年度から、超音波カラードップラーを導入し、血流状態が十分に把握できるようになりました。硬化療法、結紮術＋硬化療法、ストリッピングと重症度に応じた治療を行っています。
専門外来は、火曜日午前中となっています。

◎ 眼瞼下垂

年をとるにつれて、目が疲れる、物が何となく見えにくい、さらに瞳孔を塞ぐようになると、顎をあげないと物がよく見えない、そのため肩が凝るといった症状が出てきます。これは、瞼を上げる筋膜が加齢と共に緩むために起きる眼瞼下垂という状態です。程度の差はあるにしろ、加齢とともに必ず出てきます。年だからしかたがないとあきらめる前に是非ご相談下さい。
手術によって、視界が広がるだけでなく、若返った印象になります。
当科では顕微鏡を用いた手術を行い、術後の腫れを最小限に押さえる努力をしています。

◎ 創傷センター開設

傷は、年齢、部位、体質によって治り方はさまざまです。幼小児、小さな外傷や熱傷から、足趾の糖尿病性潰瘍、虚血性潰瘍、褥瘡といった慢性潰瘍までを、できるだけきれいに早く直すために傷を治す専門外来として、形成外科に相談して頂くために2004年11月より開設いたしました。
当科では訪問看護ステーションと連携をとりながら、入院手術、訪問看護を含めて総合的な治療を心がけています。

美容について： 当科では、いわゆる美容手術を行うことは少ないですが、美容外科は形成外科の一分野です。美容外科についての相談にも応じますので、気軽に受診下さい。

大学との連携： 当科は大阪大学医学部形成外科の関連施設です。火曜日には細川教授の診察があり（要予約）、高度な手術を応援執刀していただいており、最新の医療を心掛けています。

形成外科外来診療担当表

平成19年６月１日現在

	月	火	水	木	金
午前	日笠(あざ・一般外来)・外来手術 川上（一般外来）	蔭山（一般外来） 岡本(下肢静脈瘤外来)第2・4週	日笠（あざ外来） 田島(一般外来)第1・3・5週 曽束(一般外来)第2・4週	本多(一般外来・下肢静脈瘤)	田島(一般外来)第2・4週 曽束(一般外来)第1・3・5週
午後		細川(予約特診)最終火曜日 日笠(第1・3週レーザー照射) 戸田（完全予約）	当番医(毎週レーザー照射)	戸田（完全予約）	

～　腰部脊柱管狭窄症について　～

整形外科　行方　雅人

腰部脊柱管狭窄症とは、腰椎の脊柱管が年齢に伴い徐々に狭くなり、中に存在する神経組織（馬尾、神経根）が圧迫されて下肢痛、しびれ、筋力低下などの神経症状が生じた状態の総称である。

病態は椎間関節の変性による骨性の狭窄、および黄色靭帯の肥厚、変性により馬尾神経が背側から圧迫されるのが典型的なパターンである。また腰椎椎間板ヘルニアによる硬膜の腹側からの圧迫を合併することもある。

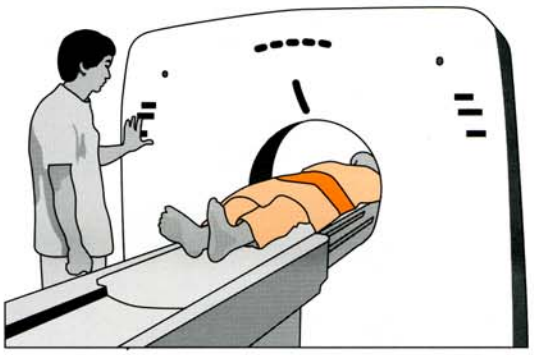
症状として、まずいわゆる間歇性跛行が高頻度にみられる。一定時間歩行、ないし立位をとると下肢のしびれ、疼痛を生じ、しゃがんで休息すると症状が回復するというものである。しかし患者さんによっては、しびれや痛みという表現を使わず、下肢が突っ張ってくる、締めつけられるような感じがしてくるという訴え方をすることもある。

腰痛については比較的軽度なことも多く、あまり鑑別診断には重要な症状ではない。また下肢および会陰部の異常感覚（火照った感じ、水が流れるような感じなど）、下肢筋力低下、あるいは膀胱直腸障害（頻尿、残尿感、尿失禁）を生じることもある。

神経の圧迫は年齢と共に徐々に進行していくため、通常は症状の進行も比較的遅い。しかし下肢筋力低下、麻痺および膀胱直腸障害が急速に進行する症例もあり、その際には緊急で手術を要する場合もある。

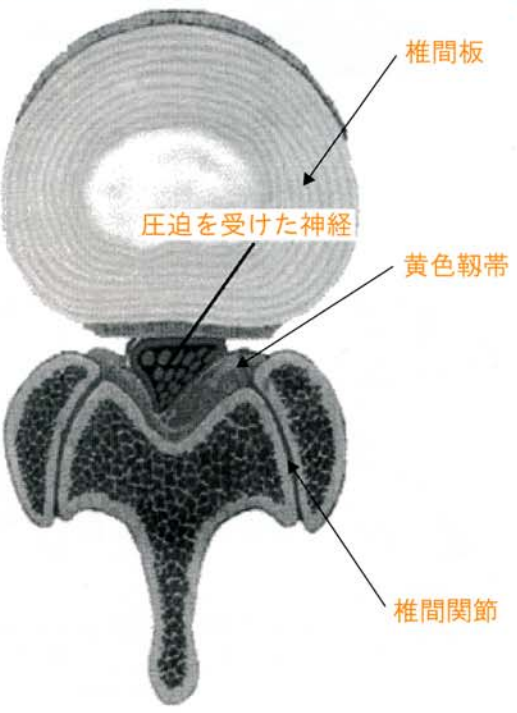
診断については上記の症状の聴取、神経症状の理学所見に加え、画像診断が必要である。画像で最も重要なものはＭＲＩである。レントゲンでは基本的に診断がつかないことがほとんどで、ＭＲＩによって神経の圧迫の程度が鮮明にとらえられる。

鑑別診断としては、閉塞性動脈硬化症による血管性間歇性跛行との鑑別が重要であるが、足背動脈の触知の有無や問診（脊柱管狭窄による間歇性跛行では腰椎前屈によって症状が回復することが多い、また歩行はつらいが自転車はいくらでも乗れるなど）によってスクリーニングを行っている。しかし両疾患を合併することもまれではない。



また、腰髄のＭＲＩを施行して明らかな圧迫がないのに下肢の脱力があって歩行が困難である、あるいは階段が手すりなしで降りられないという訴えがある患者さんで、下肢の腱反射（膝蓋腱反射、アキレス腱反射）が亢進している場合、胸髄レベルでの圧迫による病態、すなわち胸髄症（黄色靭帯骨化症、後縦靭帯骨化症など）がみられることがあり、そのような患者さんには一度胸髄のＭＲＩを施行していただきたい。胸髄症は比較的見逃されやすく、注意が必要である。

治療については、初期の段階では一般的な消炎鎮痛剤や、神経組織への血流を改善する目的でのプロスタグランジン製剤といった投薬療法に加え、ブロック療法（硬膜外ブロックや神経根ブロックなど）が行われることが多い。しかし保存療法が奏功しない場合には手術的治療が主体となる。術式については、当科では肥厚した椎間関節や黄色靭帯を摘除し、神経の除圧を図る開窓術（部分椎弓切除術）を主に行っている。また脊柱管狭窄症に加え、腰椎の不安定性を生じる病態（変性すべり症、分離すべり症など）を合併している場合にはスクリューを用いた固定術を併用することもある。



脊柱管の横断図

大阪船員保険病院の理念

理　　念：やさしさと安心の医療で人々につくします

基本方針：１．患者さんの立場にたった適切な医療を提供すること
２．地域に信頼される中核病院であること
３．地域の医療機関との連携を推進すること
４．病院職員は、より高度の医療を提供できるよう研鑽に努めること
５．病院経営の効率改善を図り、健全経営に努めること

『看護の日』の行事

大阪船員保険病院では、色々なイベントを開催しております。
５月はナイチンゲール生誕を祝して看護の日に「ふれあい一日看護体験」と「祈りのコンサート」を行いました。
「ふれあい一日看護体験」は高等学校の方が参加されました。参加された方が、患者様の「ありがとう」「がんばりや」の励ましの言葉が、「看護師になりたい！！という気持ちをさらに強める有意義な体験であった」と話されていました。
「祈りのコンサート」は、ピアニスト合田清先生をお迎えし１階ロビーにておこないました。160名程の方が集まり癒しのひとときとなりました。心懐かしい「ふるさと」で始まり、バッハの曲を中心にあっと言う間の一時間でした。このような患者様を中心としたイベントを実施しております。
次回は、１２月のクリスマスコンサートを予定しています。皆様方の御参加お待ちしております。

地域医療連絡室　松井宣子

医師の異動

（４月１日付採用）

藤田　正一郎 医長（外科）
平成８年卒業、ＮＴＴ西日本病院、成人病センター、阪大病院、加納病院にて勤務後、４月１日付でお世話になることになりました。
諸先生方のご指導のもと、外科医として修練にはげむ所存です。
宜しくお願い致します。

今井　貴夫 医長（耳鼻咽喉科）
４月１日付けで森前医長の後任としてお世話になることになりました。以前は関西労災病院にて勤務いたしており、耳、鼻、のどの良性疾患の手術を主に行わせていただいておりました。また、良性発作性頭位めまい症の診断、および治療に関する臨床研究を行わせていただいておりました。諸先生方のご協力、ご指導のもと頑張りたいと思いますので、宜しくお願いいたします。

川上　善久 医員（形成外科）
平成13年に大分医大を卒業後、大学病院と福島県会津若松市の病院で勤務していました。まだまだ至らない点が多く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思います。
諸先生方、スタッフの皆様のご指導の下、日々研鑽を積んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

牧野　裕美 医員（麻酔科）
平成15年卒業後、大阪大学附属病院、国立病院大阪医療センターで、麻酔科として勤務してきました。
昨年の９月末に、長女を出産後、この４月から、復帰することとなり、麻酔科木内部長、伊藤医長のご指導のもと、仕事に励んでおります。諸先生方のご協力、ご指導のもと頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。